

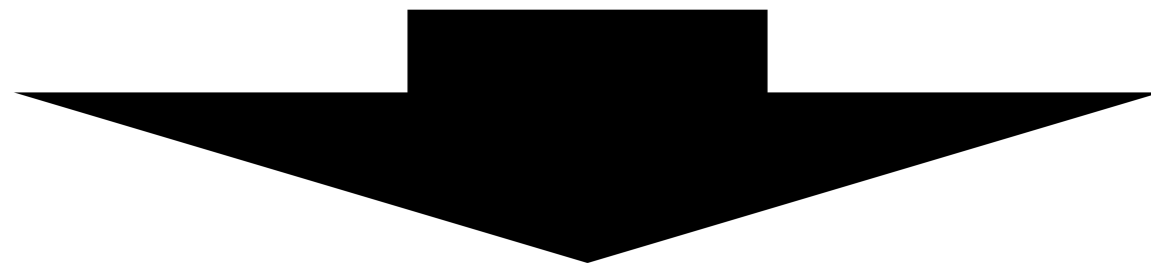
脳梗塞で H2ブロッカーを 内服する理由

エビデンスノート364



脳梗塞や脳出血、くも膜下出血の急性期

脳梗塞や脳出血、くも膜下出血の急性期では
体内はめっちゃストレス状態にある！



迷走神経が刺激されて胃酸が過剰に分泌される！

→胃に穴が空く(胃潰瘍)

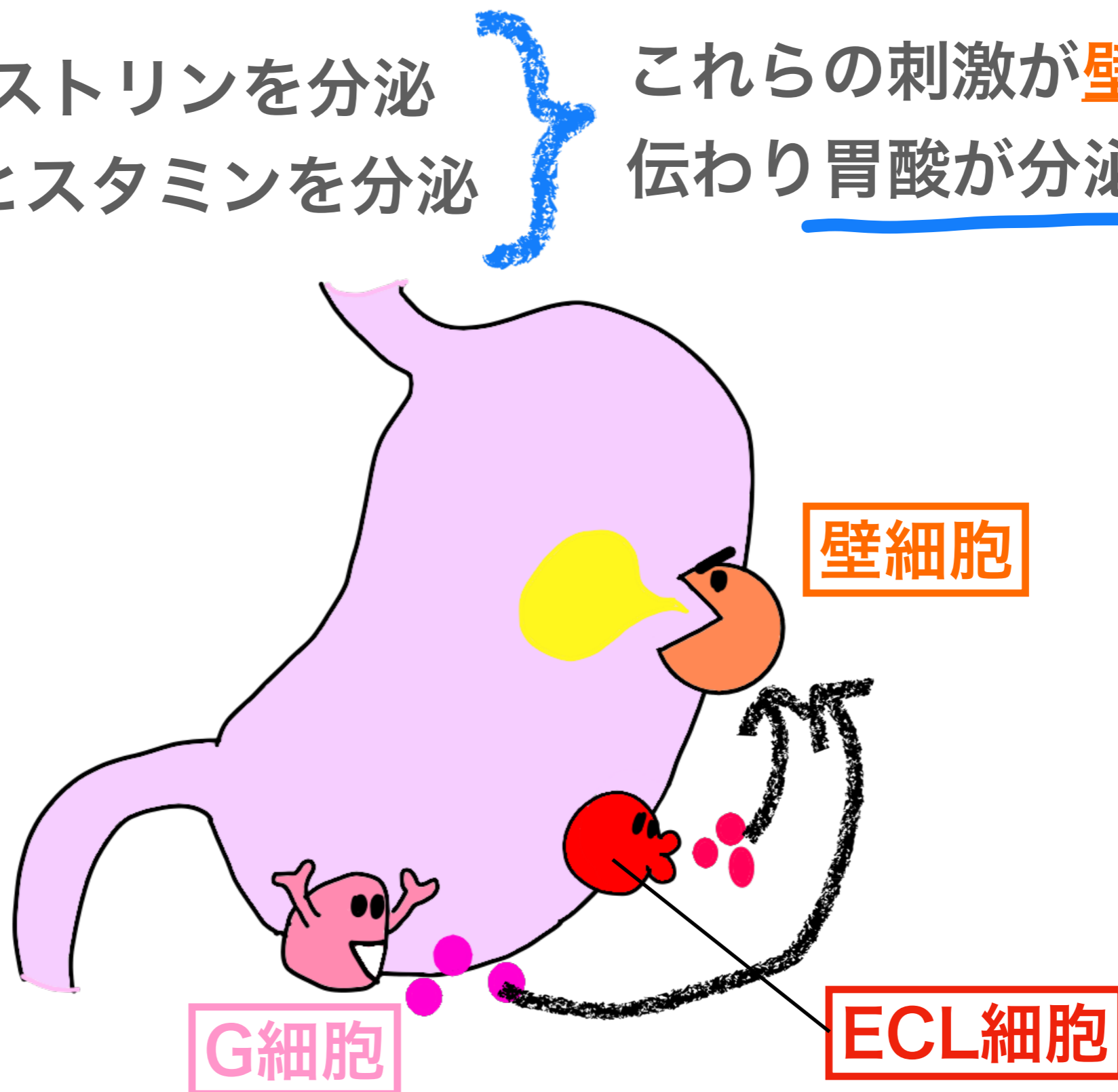
これをクッシング潰瘍という

胃酸分泌の仕組みを見ていこう！

G細胞 → ガストリンを分泌

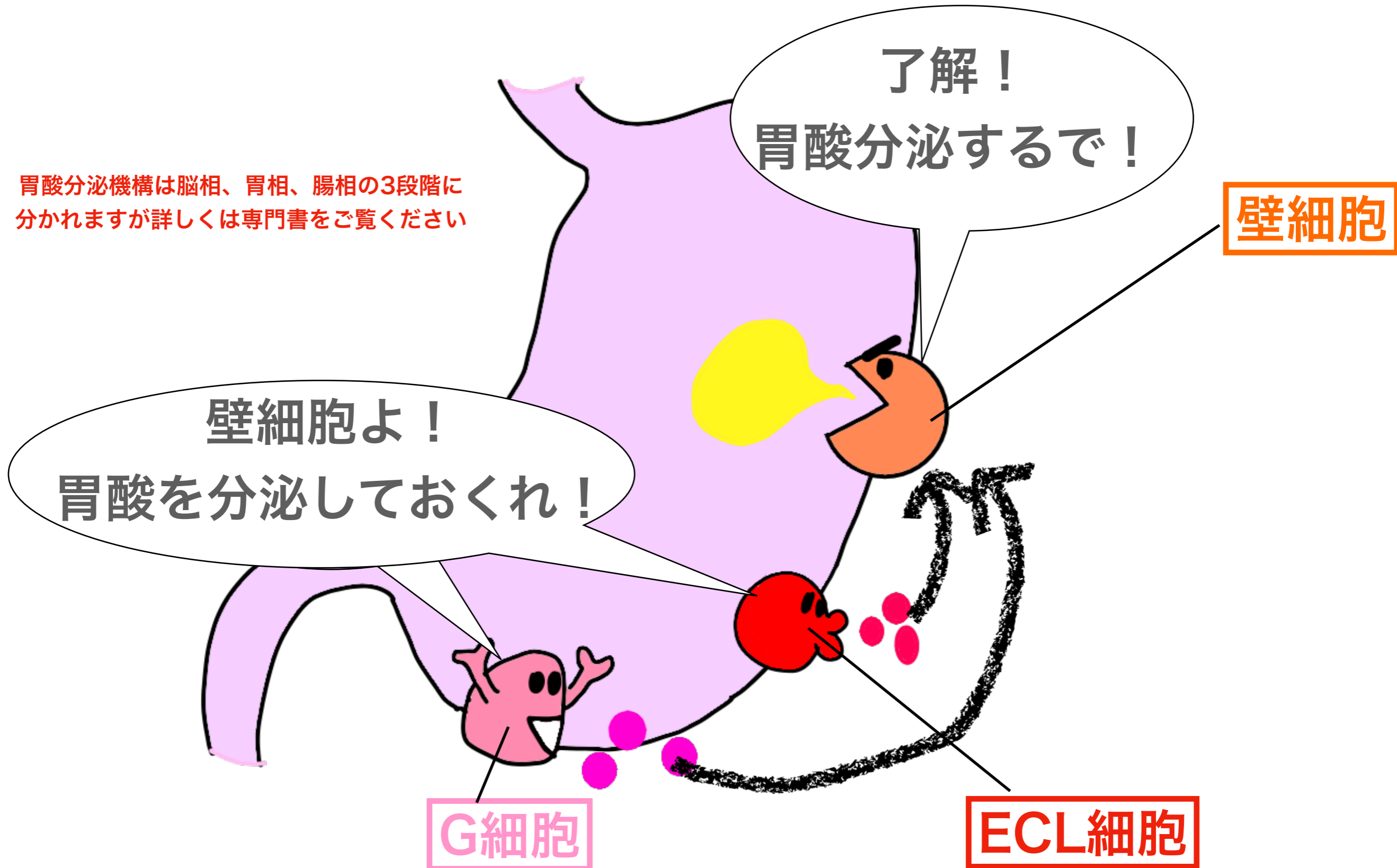
ECL細胞 → ヒスタミンを分泌

これらの刺激が**壁細胞**に伝わり 胃酸が分泌される



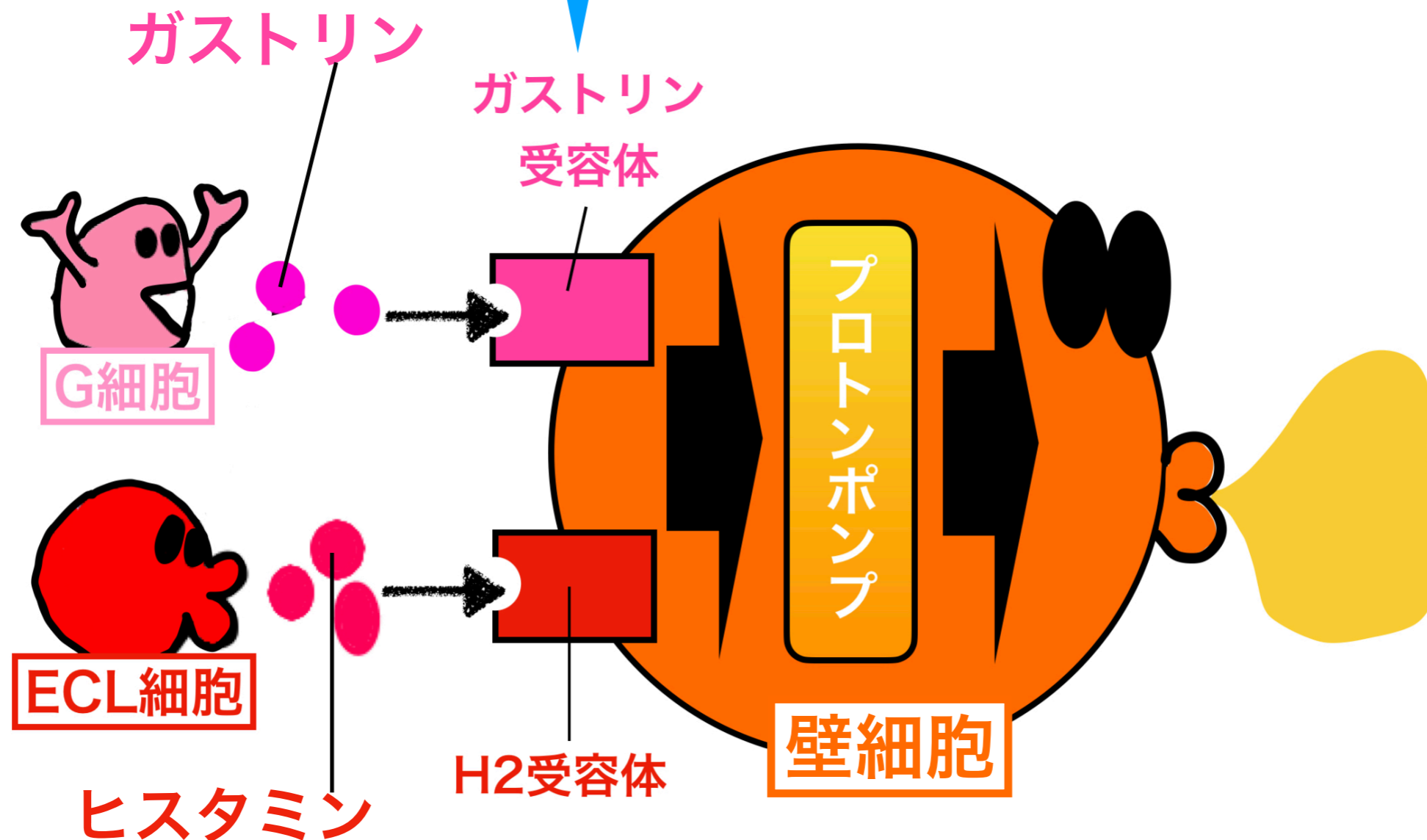
胃酸を分泌させる細胞って何だっけ？

胃酸分泌機構は脳相、胃相、腸相の3段階に分かれますが詳しくは専門書をご覧ください



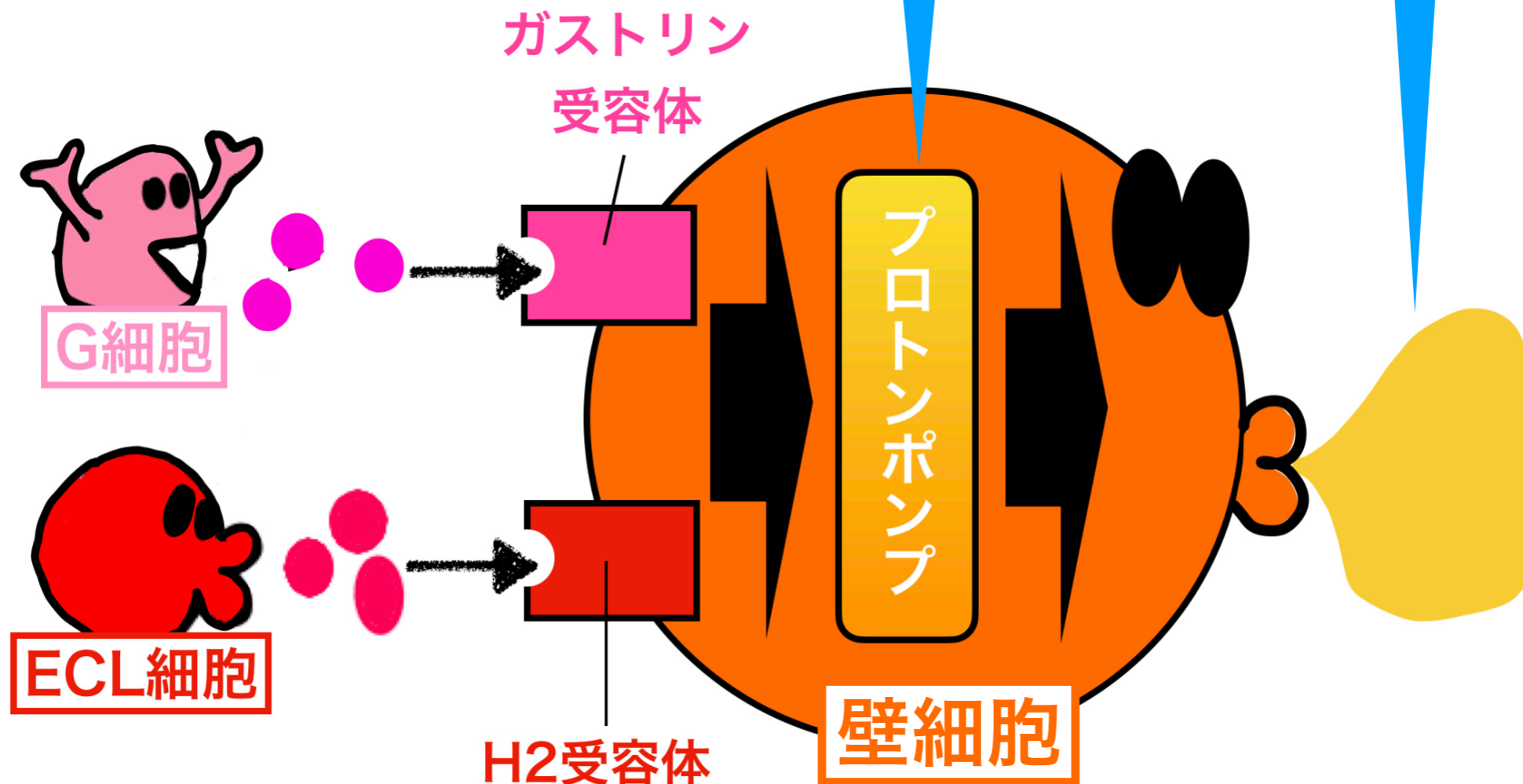
もうちょっと詳しく見てみよう！

① G細胞達から出たガストリンやヒスタミンが壁細胞の受容体にくっつく

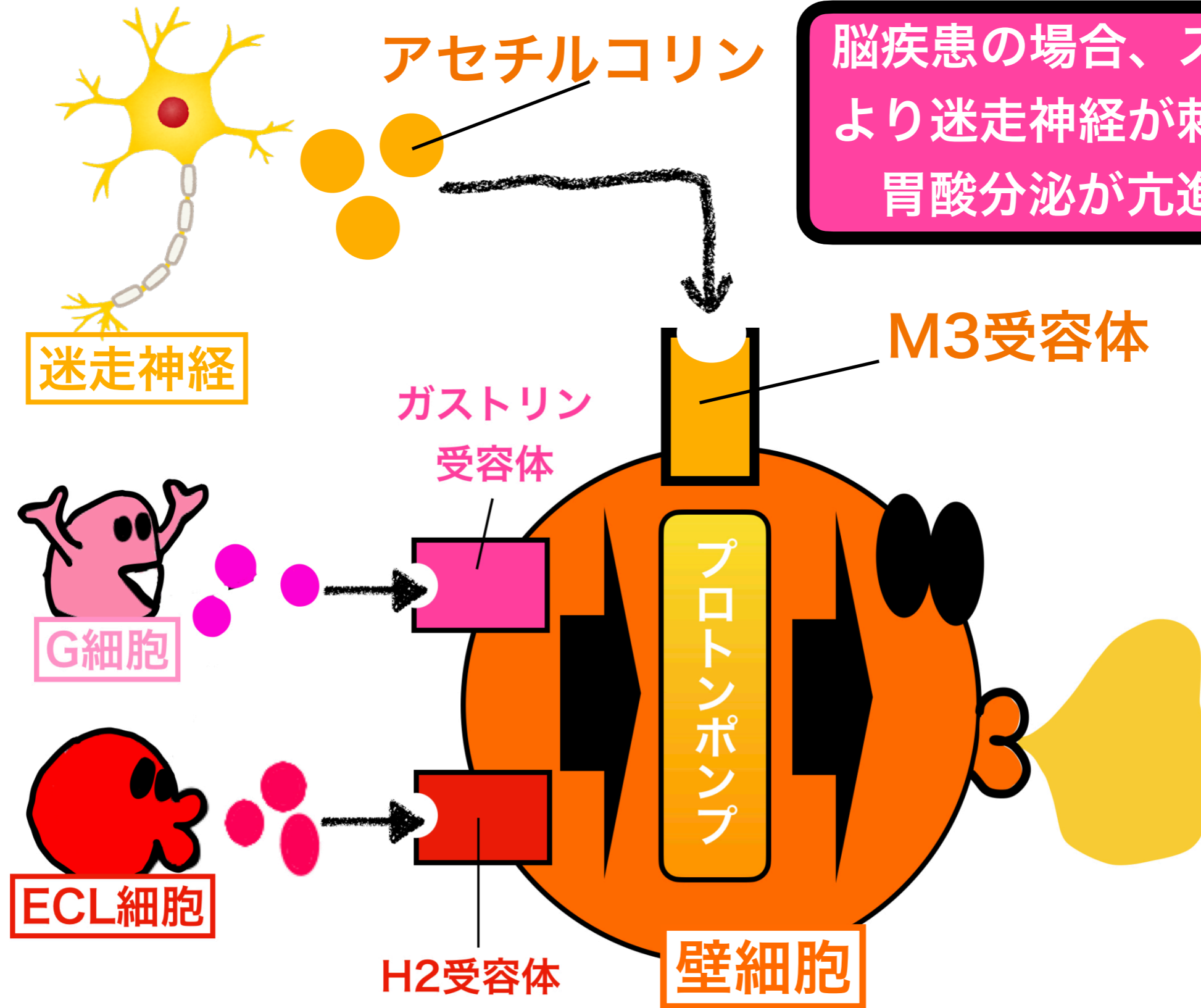


もうちょっと詳しく見てみよう！

②刺激がプロトンポンプってところに行くと胃酸分泌が起こる



他にも迷走神経からの刺激で分泌！



脳疾患の場合、ストレスにより迷走神経が刺激されて胃酸分泌が亢進する！

胃酸が増えすぎると胃に穴が空く！

胃酸は強酸性なので、分泌が亢進しすぎると胃に穴が空く！

→H2受容体を遮断して胃酸分泌を抑える

H2ブロッカーを投与することもある！